

話す力と聞く力



20240611



エリー



目次

本文	1
----------	---

本文

1、前提

話す力と聞く力は、まったく別々の能力。

2、話す力

人は、話す時、思い浮かんだ順に、気になったことを言うのが、一番楽だ。

ランダムに脈絡なく話が展開するので、聞く側は内容を全部覚えてないといけない。

そして分からないところを適宜、質問して補うことになる。

幼児の話はそうだ。

傾向として、女性の話もそうだ。

短期記憶が弱くて、1分(400字)以上続く内容を覚えられない場合、できないか、できるけどすごく疲れる。

3、話す力

考え抜いて結論を出してから、結論に関係あることだけ簡潔に述べるのが、話す力。

立場の決断が問われるため、選択することになる。

だから悩んでいて選べない人は、まとまった話し方ができない。

また自分が結論ありきで簡潔に話せるタイプは、悩んでいることを相談するのが苦手だ。

ぐちゃぐちゃな話を聞くのは大変だし、言われても困ると考えてしまうから。

4、必要になるとき

結論を整理して簡潔に話すなら、多くの人が理解できる。

話す力があるなら、聞く力は必要ない。

迷走する話を整理しながら聞き取るためには、聞く力が必要になる。

話す力がなくても、聞く力があれば会話は成立する。

5、求められる立場

社会的地位が高くて、自分の考えを伝える必要がある場合、話す力が問われることになる。

ケア労働が求められる場合、聞く力が問われる。

6、分布

予測では、全体の

20% は聞く力がある。

20% は話す力がある。

5% が重なりどっちもある。

15% は片方だけある。

残り 60% はどちらもない。

どちらもない 60% うち、

30% は話したがる。

30% は聞きたがる。

しかし、互いに相手のやり方が気に入らない。

7、まとめ

A、5%は聞く力も話す力もある。

周りから意見を集めて参考にしつつ、自分の結論を述べることができる。

B、15%は聞く力だけある。

悩みを根気強く聞き続ける。

寄り添う力がある。

ケアが得意。

C、15%は話す力がある。

聞く力はないので、自分の結論で行動する。

ワンマンになる。

D、30%は聞く力はないのに、聞きたがる。

AとCの話しか分からない。

上位20%としか関係が築けないため、金を払って楽しむことになる。

E、30%は話す力がないのに、話したがる。

AとBしか聞けない。

上位 20% としか関係が築けないため、金を払って楽しむことになる。

D は「誰も話しかけてくれない」

E は「誰も聞いてくれない」

になりがち。

相手が自分に合わせてくれてることさえ分からないなら、しんどいから逃げられる。
そして孤立していく。

8、問題点

話し方の本は多いが、聞き方の本は少ないという。

話し方は、一度紙に書き出し、型に当てはめてまとめたら、それなりに話せるようになる。

しかし、「相手の話を覚えられない」「連想して相手が話し出した“つながり”が分からない」を直すことは難しいだろう。

つまり、聞く力が求められる人の方が多いのに、鍛えることが難しい。

4 と 5 でも述べたが、ワンマン経営のトップ以外は、ケア労働は必須なので、話す力よ

り、聞く力がない方が圧倒的に困る。

9、昔との違い

「聞く力があって、自分の代わりに説明してくれる人」に「頼ることができる」が、昔はあったらしい。

弁が立つのは才能であり、普通は言えない。だから聞いて話せる人が仲裁に入る。そんな関係があったらしい。

10、できることのレベル

話にもレベルがある。

A、100文字以内の事務連絡でもめる。

B、400文字以上の大きな事業計画でもめる。

C、1600文字以上の複雑な内容でもめる。

Aができないのに、Cができることはない。

でも C ができなくても、A ができるなら、A ができない人の代弁ができる。

逆に、B ができる人が、複雑な内容に参加して、C ができる人にケアされてたら、「A や B ができない人はどうなる？」という話でもある。

11、変えるべき点

つまり、「できないことでケアされずに、できてることで役に立て！」を前提にしないと格差が広がるばかり。

でも学校教育は、できてない生徒が、できている先生に習う方式。

できていることで、できない人の役に立ち、稼ぐ経験をしてない。

つまり、出世してできないところまで行って止めるのではなく、できるところに戻して、できない人をケアさせる必要がある。

ケアしてもらって消費者根性を否定して、全員が自分よりできない人をケアしないと対立が深まるばかり。

ケアし合うためには、「自分は何ができないのか」を認める必要があるため、心理的安全性が求められる。

それを作るのは聞く力なのだ。

話す力と聞く力20240611

著 ELYE

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
